



ゆぎょうじ

# 遊行寺だより

ホームページでも  
配信しています

新年おめでとうございます。

お年始のご挨拶を申し上げますとともに、謹んで檀信徒の皆様の平安をご祈念いたします。

旧年中も多くのお支えを頂きました。総本山の護持興隆にご助力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## — 今月の行事予定 —

### ◆修正会【1日（日）】

無事に新年を迎えたことに感謝し、一年間の安泰を祈願します。

### ◆初賦算【12日（木）11時】

新年に初刷りした念仏札をお配りします。  
ぜひ本堂へお参りください。

### ◆檀徒会新年会【12日（木）正午】

初賦算に続いて開催します。  
お檀家の皆様と総本山役職員とが親睦を深める数少ない機会です。当日3日前まで受付しておりますのでふるってご参加ください。

### ◆どんど焼き【14日（土）10時】

遊行寺で授与した御守・御札などを  
お焚き上げします。

### ◆写経会【15日（日）13時】

毎月第1日曜日に開催しますが、今月は元旦に当たるため第3日曜日に変更します。

詳細はホームページ、もしくは写経会のご案内をご覧ください。受付は12時半からです。  
終了時間は自由で、どなたでもご参加いただけます。

### ◆月例法話会【23日（月）14時】

信徒会館で行います。ぜひ、ご参加ください。

講師：時宗布教伝道研究所  
東京都八王子市 直入院 矢島賢一師

## — 今月の催事予定 —

### ◆骨董市【4日（水），15日】

毎月第1日曜日…蚤の市

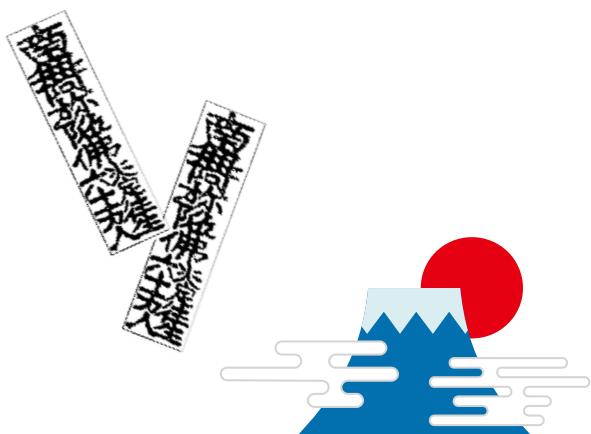
毎月第3日曜日…ボロ市

\* 午前7時より午後4時まで(雨天中止)

今月は正月期間があるため日程変更になります

### ◆野菜市【4，11，18，25日】

毎週水曜日 午前中出店・雨天中止



### \* 遊行寺宝物館

#### 特別展『遊行寺の什宝』

[1月1日（日）～2月13日（月）]

- ・開館日：毎週月・土・日曜日・祝日
- ・入館料：500円（小・中学生300円）

## 健康の「得」

宗祖の

一年が過ぎるのは早いもので、光陰矢の如しとはよく言ったものです。

昨年は、当山の住職である他阿真円上人が運転免許証を自主返納されたことが大きな反響を呼び、様々な議論を生むきっかけとして注目されました。

高齢ドライバーの増加は日本が直面している「超高齢社会」問題の氷山の一角であり、真円上人は常々そのことを案じられています。そして、「健康寿命」という言葉をキーワードに、日本が直面している超高齢社会の諸問題について語られます。

健康というのは身体の健康と心の健康の二つから考えることができ、言うまでもなく人にとって心(精神状態)が健康であることが大変重要です。皆様の中で健康を気にされている方は多いかと思いますが、実際に食生活を節制し、適度な運動、睡眠をとれている方は少ないのではないでしょうか。

さてここで『法句経』(『ダンマパダ』)にでてくるお釈迦さまのお言葉を紹介したいと思います。

健康は最高の利得であり、

満足は最上の宝であり、

信頼は最高の知己であり、

ニルヴァーナは最上の楽しみである。(訳:中村元)

まず第一句で健康が最高の「得」であるとお釈迦さまはおっしゃいます。病気になると、仕事にも支障が出ますし、お金もかかります。これは人が生きていくうえで大変「損」なことであり、逆に健康でいることは最高の「得」なのです。

健康な身体を持っている人は、常に「得」をしていて、それだけで喜ばしいことだと理解できるでしょう。

ただし、お釈迦さまは病気にかかっている人を「損」とおっしゃったわけではありません。病気と闘っている時は自分も努力しますし、周りの多くの支えにも改めて気づくでしょう。そこから多くのことを学べる人は「得」であり、決して「損」ではないのです。

お釈迦さまや一遍上人がおっしゃるように、病気や老いはどんな人であろうとも逃れることはできません。自分がその立場になった時、いかに「損」を「得」に変えられるかが大事になってくるのではないでしょうか。

合掌



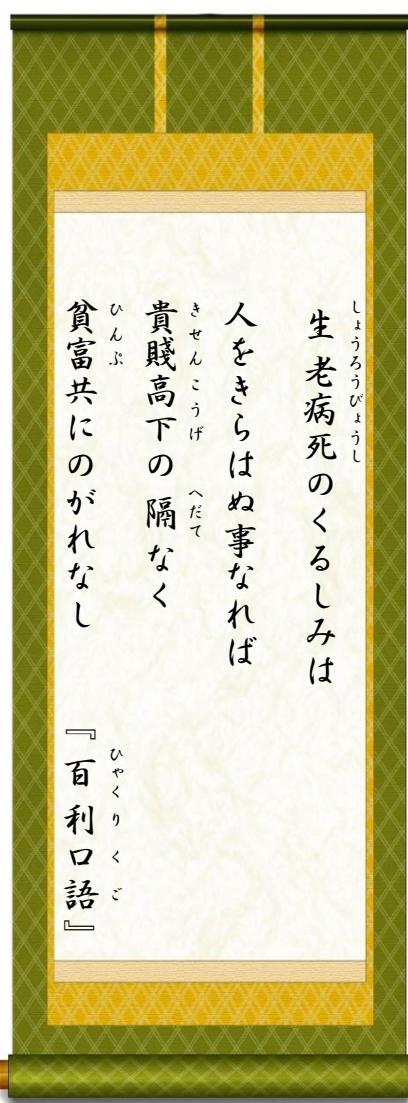
フェイスブックでも遊行寺の様子や情報を配信しています。  
最新記事をお読みいただけますので、ぜひ  
“いいね！”してください♪

時宗総本山 〒251-0001 神奈川県藤沢市西富1-8-1

遊行寺 TEL:0466(22)2063 FAX:0466(23)8243

ホームページ: <http://www.jishu.or.jp>

## 今月のおことは



~一遍上人のおこころ~  
人が生きる上での苦しみである  
「老い」、「病気」、「死」は、  
地位や貧富とは全く関係なく  
やってくるものであり、逃れるこ  
とはできないのです。

